

事務事業マネジメントシート
(兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名	消防団ポンプ車等購入事業		所属部局	消防本部	単位番号	13068				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	消防課	課長名	清水 貴雄				
			所属担当	地域消防担当	担当者名	志村 太				
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 09	項 01	目 03	細目 020	細々目 05
政策	06	安全な環境づくり	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	08	防災体制の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	消防組織法、消防法					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市消防団各分団の消防ポンプ自動車、並びに小型ポンプ等を最良の状態に保ち、市民の安全の確保のため、災害時等に迅速かつ安全に出勤できるようにするために、老朽化した消防ポンプ自動車の更新の推進を実施する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				旅費	0					
				役務費	18					
			備品購入費	23,630						
			公課費	26						
					計	23,674				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⇒		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
26年度活動内容	平成26年度消防ポンプ自動車2台(八田分団第2部・白根分団第2部)購入			名称	単位
27年度活動予定	平成27年度消防ポンプ自動車2台(楯形分団第3部・第4部)購入			ア 消防ポンプ自動車購入台数	台
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等				イ	
各地区の防災力(消防ポンプ自動車)				ウ	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)				⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
老朽化したポンプ自動車を使用年数を延長しながらも、計画的に更新することによって、災害への対応が迅速的確に行われる。				名称	単位
				ア 車両耐用年数(走行距離含む)	年
				イ	
				ウ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)				⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
大規模地震の発生が危惧されているため、計画的に更新を実施し、さらに小型化を推進、地域の防災力向上をはかり、地域住民の安心安全を確保する。				名称	単位
				ア 使用年数の延長	年
				イ	
				ウ	
				⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 小型ポンプ積載車の割合	%
				イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	33,538	33,319	23,630	36,080	36,080	36,080	
	事業費計(A)	千円	33,538	33,319	23,630	36,080	36,080	36,080	0
	正社員従事人数	人	2	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	人件費計(B)	千円	9,102	9,102	9,102	9,102	9,102	9,102	0
(A)+(B)	千円	42,640	42,421	32,732	45,182	45,182	45,182	0	
活動指標	ア	台	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	年	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	年	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	20.1	20.1	20.1	20.1	20.1	20.1	
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年の合併後、開始。阪神・淡路大震災や東日本大震災のおり出火防止と初期鎮圧の必要性は重大であることから、老朽化したポンプ自動車の更新は不可欠である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	東海、南関東直下型地震などいつ災害が起こっても不思議ではない状況下である。老朽化した消防ポンプ自動車を更新することは、災害への対応が迅速的確に行われるものでありきわめて有効である。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	車両整備について、各資器材は高価なものであるが、それを使用して一命をとりとめた等、いくつかの事例がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	消防ポンプ車の更新は15年以上経過したものから更新していく。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	八田分団においてはポンプ車ではなく小型ポンプ積載車に変更した。

事務事業名	消防団ポンプ車等購入事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	--------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 防災体制の目的達成のため、事業を効果的に実施する上で、有効性は高い。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市民の安心安全の確保を目指しているものであり、災害が発生した場合には市民からの信頼も大きくなる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 消防車の台数的にも現状は多いと思われる、今後見直しは必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 消防団員も確保が厳しい状況となっているため、少人数でも活動できる小型ポンプ積載車に変更することも必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 消火活動災害活動が出来なくなる <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 消火活動災害活動が出来なくなる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ホンパ車ではなく小型ポンプ積載車等に変更することも必要である
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内にある消防ポンプ自動車を計画的に随時更新していくもので公平性は高い。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	車両更新の推進については、引き続き計画的実施して行きたいが更新年度の延長と車両の小型化を図っていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 今後は車輛の小型化を図っていく。 計画的に年数にて買い替えを行なっている車の状況やポンプの状況を精査する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 計画的に入替えるが、消防団または地域の方などの意見も拝聴し前向きに進める。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					